

令和4年度事業報告

1 貿易振興事業

(1) 県産品フェア・商談会等開催事業

ア 輸出実績のある国・地域への取組

(タイ・マレーシア・インドネシア・シンガポール・カンボジア・米国・英国)

県産農産物や県産日本酒の輸出拡大を図るためのプロモーション活動等に取り組んだ。

米国においては、一昨年輸入規制が撤廃されたことから、県産米の輸出拡大に向けて知事による現地量販店代表者へのトップセールスや店頭プロモーションを実施したほか、飲食店においてPRイベントを実施した。また、県産日本酒の販路拡大に向けて、「ふくしまの酒コーナー」をニューヨークの2店舗に加えて新たにロサンゼルスに設置することで合意を得るとともに、飲食店や小売店でのPRイベントを実施した。

県産桃については、出荷の最盛期を迎える8月8日から21日までの間、東南アジア5か国（タイ、マレーシア、インドネシア、シンガポール、カンボジア）、36店舗において「Fukushima Peach Week in ASEAN」として同時に販促キャンペーンを実施した。

タイにおいては、桃、梨、りんご、あんぼ柿についてデモンストレーターを配置したインスタプロモーションや販促キャンペーン、ECサイトでの販売、SNS広告を行った。

マレーシアにおいては、県産牛肉（福島牛）について小売店等での販促プロモーションを実施したほか、桃について現地量販店や輸入業者直営の小売店においてデモンストレーターを配置し、試食販売等を実施した。

インドネシア及びカンボジアにおいては、桃についてデモンストレーターを配置したインスタプロモーション等を実施した。

シンガポールにおいては、桃、梨、あんぼ柿についてデモンストレーターを配置したインスタプロモーションを実施したほか、桃の鮮度保持に向けた輸送試験を実施した。

また、昨年輸入規制が撤廃された英国において、県産品のおいしさや品質の高さなどの魅力や安全性等を発信するため、英国政府関係者や議員、流通関係者に対してさらなる理解促進に向けたレセプションを開催した。

■令和4年度 of 主な取組内容

- 県産米、県産日本酒の販路拡大に向けたトップセールス等の実施（米国）
- 県産桃等果物の販路拡大に向けたプロモーションの実施
（タイ、マレーシア、インドネシア、シンガポール、カンボジア）
- 福島牛の販路拡大に向けたプロモーションの実施（マレーシア）
- 県産品の魅力や安全性の発信（英国）

■令和4年度の主な活動

- 6/20～6/30 福島牛のインスタプロモーション (マレーシア)
- 7/30～8/28 県産桃のインスタプロモーション (インドネシア)
- 8/5～10/9 県産桃のインスタプロモーション (タイ)
- 8/6～9/11 県産桃のインスタプロモーション (カンボジア)
- 8/8～8/21 Fukushima Peach Week in ASEAN の開催 (東南アジア5か国)
- 8/13～9/18 県産桃のインスタプロモーション (マレーシア)
- 8/14～10/9 県産桃のインスタプロモーション (シンガポール)
- 9/7 輸入規制撤廃に係るレセプション (英国)
- 10/2～11/6 県産梨のインスタプロモーション (タイ)
- 10/7～11/13 県産梨のインスタプロモーション (シンガポール)
- 12/24～1/29 県産りんごのインスタプロモーション (タイ)
- 1/16～1/19 知事によるトップセールス (米国)
- 1/20～2/5 あんぽ柿のインスタプロモーション (タイ)
- 2/1～2/28 福島牛のインスタプロモーション (マレーシア)
- 2/17～2/26 あんぽ柿のインスタプロモーション (シンガポール)



【量販店代表者への県産米トップセールス (米国)】

【県産桃のインスタプロモーション (タイ)】



【福島牛のインスタプロモーション (マレーシア)】

【輸入規制撤廃に係るレセプション (英国)】

イ 主な品目別の取組

(ア) 農産物

県産米については、一昨年輸入規制が撤廃された米国において知事よるトップセールスを行うとともに、量販店や飲食店において販促プロモーション等を実施した。

県産桃について東南アジア 5 か国で「Fukushima Peach Week in ASEAN」を開催するなどプロモーションを強化し、東南アジアでの県産果物の輸出拡大に取り組んだ。

福島牛については、マレーシア向けにハラルに対応した牛肉の輸出拡大を支援し、過去最高の輸出量となった。

■令和4年度の主な取組内容

- 県産米の販路拡大に向けたトップセールスの実施
- 県産農産物のインスタプロモーションの実施
- 県産桃のについて東南アジア 5 か国、36 店舗で販促プロモーション「Fukushima Peach Week in ASEAN」の実施
- 県産農産物のECサイトでの販売、SNSを活用した情報発信
- 県産桃の鮮度保持に向けた試験輸送の実施

■令和4年度の主な活動

- 6/20～6/30 福島牛のインスタプロモーション (マレーシア) (再掲)
- 7/30～8/28 県産桃のインスタプロモーション (インドネシア) (再掲)
- 8/5～10/9 県産桃のインスタプロモーション (タイ) (再掲)
- 8/6～9/11 県産桃のインスタプロモーション (カンボジア) (再掲)
- 8/8～8/21 Fukushima Peach Week in ASEAN の開催 (東南アジア 5 か国) (再掲)
- 8/13～9/18 県産桃のインスタプロモーション (マレーシア) (再掲)
- 8/14～10/9 県産桃のインスタプロモーション (シンガポール) (再掲)
- 9/7 輸入規制撤廃に係るレセプション (英国)
- 10/2～11/6 県産梨のインスタプロモーション (タイ) (再掲)
- 10/7～11/13 県産梨のインスタプロモーション (シンガポール) (再掲)
- 12/24～1/29 県産りんごのインスタプロモーション (タイ) (再掲)
- 1/16～1/19 知事によるトップセールス (米国)
- 1/20～2/5 あんぽ柿のインスタプロモーション (タイ) (再掲)
- 2/1～2/28 福島牛のインスタプロモーション (マレーシア) (再掲)
- 2/17～2/26 あんぽ柿のインスタプロモーション (シンガポール) (再掲)

(イ) 日本酒

県産日本酒の販路拡大と風評払拭を図るため、県産日本酒の最大の輸出先国である米国において「ふくしまの酒」コーナーの運営や新規設置に向けた取組、飲食店・小売店での販促キャンペーン、現地バイヤーを県内に招聘し商談会等を実施した。

また、県産日本酒の台湾向けの輸出促進に向けてオンラインセミナーや商談会を実施した。

さらに、SNSを活用して県産日本酒の品質やおいしさなどの魅力の発信に努めた。

■令和4年度の主な取組内容

- 米国ニューヨークにおける「ふくしまの酒」コーナーの運営
- 「ふくしまの酒」コーナー新規設置に向けた酒販小売店へのトップセールス
- 米国内の飲食店、小売店における販促キャンペーンの実施
- 米国への販路拡大に向けたセミナーの開催、現地バイヤーとの商談会の実施
- 台湾への輸出促進に向けたオンラインセミナー、商談会の開催
- SNSを活用した県産日本酒の魅力の発信

■令和4年度の主な活動

- 「ふくしまの酒」コーナー2所において試飲会等を開催
- 酒販小売店へのトップセールス（ロサンゼルス、1店舗）
- 米国飲食店10店舗、小売店5店舗において県産酒フェアの開催
- 米国向けオンラインセミナーの開催、現地バイヤーとの商談会の実施（5名）
- 台湾向けオンラインセミナー、商談会等を開催（県内9歳参加）
- Instagramを活用して県産日本酒の情報を発信（随時）



【酒販小売店へのトップセールス（米国）】



【現地バイヤーとの商談会】

(ウ) 加工食品

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者自らが渡航して海外での営業活動を行うことが困難なことから、米国、香港、豪州3か国に現地等で活動できる人材（輸出コーディネーター）を配置して代行営業を行うなど県内加工食品事業者の輸出支援を行った。

各国・地域の商習慣や現地状況などについて、会員に逐次情報提供を行った。

■令和4年度の実施内容

- 国内・海外（3国）に輸出コーディネーターを配置し、商談支援や代行営業を実施
- 各国・地域の商習慣や現地状況等に関する情報提供

■令和4年度の実施活動

- 県内加工食品事業者13社を対象に商談支援や代行営業を実施し、延べ51商品の成約
- 各国・地域の商習慣や現地の状況などについて情報提供を実施（随時）

(エ) 工芸品

各種機会を通じて、県産工芸品のPRに取り組んだ。

■令和4年度の実施内容

- 伝統工芸品の魅力や品質の高さを伝え、県産品の販路拡大等を実施

■令和4年度の実施活動

- 米国や英国訪問の際に各要人への贈答品やレセプションにおいてお土産品として活用するなど各種機会において県産工芸品のPRを実施



(2) 商談等支援事業

【福島県産品海外販路開拓支援事業 助成件数合計 17 件】

ア 海外商談活動

○海外渡航経費

海外商談や販売促進活動のための渡航経費を助成

助成件数 10 件（上限 8 万円）799,637 円

○新型コロナウイルス感染症特別措置経費

新型コロナウイルス感染症の特別措置として、渡航の際に必要な
検査及び証明書発行のための経費を助成

助成件数 1 件（上限 2 万円）11,164 円

イ 海外におけるテストマーケティング

海外での商品のニーズを探ることを目的に、試作品のアンケート実施
や WEB 広告配信等に関する経費を助成

助成件数 1 件（上限 5 万円）50,000 円

ウ 輸出に向けた取組（英語版ホームページの作成等）

外国語版のホームページやパンフレット等の作成のための経費を助成

助成件数 1 件（上限 5 万円）50,000 円

エ 海外展示会・見本市・商談会への出展、参加（オンライン含む）

海外またはオンラインで開催される展示会・見本市・商談会への出
展、参加に係る経費を助成

助成件数 2 件（上限 10 万円）119,199 円

オ 海外向け認証取得

国際的に通用する認証の取得・更新及び輸出先国において他国産との差
別化が図られる規格認証の取得・更新等を行うための経費を助成

助成件数 1 件（上限 10 万円）100,000 円

カ 知的財産権に関する外国出願

輸出する商品の知的財産権に関する外国出願のための経費を助成

助成件数 1 件（上限 10 万円）70,000 円

(3) 輸出促進体制整備事業

県産品の輸出体制整備のため「海外販路開拓専門員」を継続して設置
し、輸出関連企業等との連絡調整、相談等を行った。

2 県産品海外販路展開強化事業

県の緊急雇用事業を活用して嘱託職員を継続して設置し、輸出支援セミナー
の開催、県産品輸出状況調査、ジェトロ福島との連携等を推進した。

また、英語が堪能な嘱託職員を雇用し、県産米や日本酒など本県を代表する
県産品の PR と海外販路の開拓を支援した。

3 人材育成・情報収集提供事業

(1) 海外経済情報収集提供事業

ジェトロ福島、経済関係団体等からの展示会案内、各国の貿易管理制度や県産品に対する規制等の情報を福島県貿易促進協議会ホームページやメールを通じて会員へ提供した。

(2) セミナー開催等事業

輸出支援セミナー、ワークショップ、オンライン商談会の開催

○6/29 輸出支援セミナー 参加人数 15 名

演題：はじめてのオンライン商談会対策

講師：株式会社 KM International 中 正宏

○7/13 第1回ワークショップ 参加企業数 5 社

○8/3 第2回ワークショップ 参加企業数 5 社

○10/3～24 オンライン商談会 参加企業数 5 社

(3) 翻訳対応事業 利用企業：3社（4件）

新型コロナウイルス感染症の収束等を見据えて輸出の準備を進めている事業者を支援するため、商品概要等の翻訳サービスを行った。

【参考】共催・後援事業等の実績

○12/5 ジェトロ福島「ポストコロナ時代の海外ビジネス」
～リアルとデジタルを駆使した新戦略～

○2/28～3/2 ジェトロ福島「県産酒海外バイヤー招聘事業」

4 広報事業

福島県貿易促進協議会ホームページの更新や掲載内容の充実、ニュースレターの発行による情報提供に努めた。

5 管理費（会議費）

○ 令和4年度福島県貿易促進協議会 理事会（書面、令和4年7月）

○ 令和4年度福島県貿易促進協議会 総会（書面、令和4年7月）